



令和6年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年12月25日

上場会社名 ファーマライズホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2796 URL <http://www.pharmarise.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋山 昌之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 沼田 豊 (TEL) 03-3362-7130
 四半期報告書提出予定日 令和6年1月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年5月期第2四半期の連結業績 (令和5年6月1日～令和5年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年5月期第2四半期	26,948	4.7	710	23.9	701	23.9	273	276.6
5年5月期第2四半期	25,745	△0.6	573	△27.3	566	△30.4	72	△71.0

(注) 包括利益 6年5月期第2四半期 283百万円(267.7%) 5年5月期第2四半期 77百万円(△69.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年5月期第2四半期	28.29	26.99
5年5月期第2四半期	7.76	5.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年5月期第2四半期	22,966	8,391	35.3
5年5月期	23,421	6,987	28.5

(参考) 自己資本 6年5月期第2四半期 8,103百万円 5年5月期 6,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年5月期	—	0.00	—	14.00	14.00
6年5月期	—	0.00			
6年5月期(予想)			—	20.00	20.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 令和6年5月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当(創業40周年記念配当) 6円00銭

3. 令和6年5月期の連結業績予想 (令和5年6月1日～令和6年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,546	2.9	1,477	2.7	1,423	△0.6	449	34.9	41.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	6年5月期2Q	12,060,381株	5年5月期	9,746,645株
② 期末自己株式数	6年5月期2Q	321,100株	5年5月期	321,100株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	6年5月期2Q	9,680,142株	5年5月期2Q	9,375,777株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社では令和5年9月29日付で譲渡制限付株式報酬として109,870株の当社普通株式を新株式として発行しております。また、同年11月13日付でAG2号投資事業有限責任組合による転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い2,203,866株の当社普通株式を新株式として発行しております。連結業績予想における「1株当たり当期純利益」の分母である期中平均株式数の算定にあたっては、当該発行済株式数の増加を反映させて、算定を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（令和5年6月1日～令和5年11月30日）におけるわが国経済は、景気はこのところ一部に足踏みもみられますが、緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もありまして、緩やかな回復が続くことが期待されております。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況となっております。

こうしたなか、当社グループは令和3年12月24日に「中期経営計画L S G（Leading to Sustainable Growth）2024」を公表し、株主価値の更なる向上を目指し、競争力を強化し成長していくため、①投資家に選ばれる会社になるための取り組み強化、②調剤事業を核とした事業展開による収益獲得強化、③経営基盤の更なる強化による収益構造の改善、を推進しております。経営環境の変化等から、第1四半期に定量目標について見直しを行いました。基本方針や定性目標については、現行の内容から変更はございません。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高26,948百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益710百万円（前年同期比23.9%増）、経常利益701百万円（前年同期比23.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は273百万円（前年同期比276.6%増）となりました。

セグメント毎の業績は次のとおりであります。

（調剤薬局事業）

当第2四半期連結累計期間における調剤薬局事業の業績は、M&Aや新規出店効果に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による受診抑制の緩和を主な要因とした処方せん枚数の回復、調剤技術料の算定増加等により売上高は21,876百万円（前年同期比4.5%増）と増収、セグメント利益は831百万円（前年同期比11.6%増）と増益になりました。同期間における調剤薬局店舗は12店舗増加、2店舗減少で、当社グループが運営する店舗数は310店舗となりました。増加した店舗は、株式譲渡により取得した三協医療薬品株式会社の3店舗（東京都）及び有限会社ミットの6店舗（福島県1店舗、新潟県5店舗）、ファーマライズ株式会社の新規開局の3店舗（茨城県、神奈川県及び大阪府）であります。

薬局運営面につきましては、①超高齢社会に対応すべく医療・介護・ヘルスケアを推進し、かかりつけ薬局として地域医療に貢献するという使命を追求、②当社独自の認定資格ヘルシーライフアドバイザーによる「からだ・こころ・くらしのウェルネス」をテーマに国民の健康維持・増進活動を支援、③業務のセンター化による効率化とDX化によるオンライン服薬指導推進、に取り組んでおります。

なお健康サポート薬局は当連結会計期間末時点で78店舗（前年度末比4店舗減）となり、地域連携薬局は121店舗（前年度末比4店舗増）となりました。また、専門医療機関連携薬局につきましては、2店舗の認定を取得いたしました。

（物販事業）

当第2四半期連結累計期間における物販事業の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響緩和による経済活動の回復を背景としたコンビニエンスストア部門・ドラッグストア部門の売上高伸長により、売上高は4,127百万円（前年同期比7.0%増）となりました。セグメント損失は38百万円（前年同期はセグメント損失129百万円）となり、前年同期比で90百万円セグメント損失が縮小いたしました。同期間における調剤を併設しない本セグメントの当社グループが運営する店舗数は46店舗（調剤薬局を併設している11店舗を含めると57店舗）であります。

（医学資料保管・管理事業）

当第2四半期連結累計期間における医学資料保管・管理事業の業績は、主に医療機関における経費削減の動きから紙カルテ等の保管年数の短縮化の影響を受け、売上高は301百万円（前年同期比8.0%減）、セグメント利益は21百万円（前年同期比45.2%減）となりました。一方で紙カルテ等の保管・管理のニーズは継続的に発生していることから、それらの獲得と新たなサービス提供に向けた営業活動を展開しております。

（医療モール経営事業）

当第2四半期連結累計期間における医療モール経営事業の業績は、売上高は252百万円（前年同期比0.0%減）、セグメント利益は減価償却費が減少したことで56百万円（前年同期比22.6%増）となり、安定的に推移しております。

(その他)

当第2四半期連結累計期間におけるその他事業の業績は、人材派遣事業が好調だったことにより売上高は389百万円(前年同期比3.8%増)となりました。一方、医薬品の卸売取引の減少、医療関連ITソリューション事業が減益となったこと等によりセグメント利益は2百万円(前年同期比90.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は22,966百万円(前連結会計年度末比454百万円減)となりました。主な要因は、現金及び預金が4,923百万円(前連結会計年度末比181百万円増)商品及び製品が2,425百万円(前連結会計年度末比199百万円増)となった一方で、未収入金が2,482百万円(前連結会計年度末比929百万円減)となったことによるものであります。

(負債)

負債の残高は14,574百万円(前連結会計年度末比1,858百万円減)となりました。主な要因は、買掛金が4,417百万円(前連結会計年度末比165百万円増)となった一方で、長期借入金が4,905百万円(前連結会計年度末比311百万円減)、1年内返済予定の長期借入金が1,738百万円(前連結会計年度末比269百万円減)、1年内償還予定の社債が全額償還及び転換(前連結会計年度末比1,482百万円減)となったことによるものであります。

(純資産)

純資産の残高は8,391百万円(前連結会計年度末比1,403百万円増)となりました。この主な要因は、1年内償還予定の社債の転換により資本金が1,961百万円(前連結会計年度末比662百万円増)、資本剰余金が2,177百万円(前連結会計年度末比624百万円増)となったことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、4,923百万円(前年同期比619百万円増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、1,860百万円(前年同期比307百万円増)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益が662百万円となり、法人税等の支払額又は還付額により資金が360百万円減少した一方で、減価償却費が295百万円、のれん償却額が276百万円計上され、売上債権が860百万円減少となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、543百万円(前年同期比95百万円増)となりました。この主な要因は、新規開局等に伴う有形固定資産の取得による支出が317百万円、システム改修等に伴う無形固定の取得による支出が90百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が67百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,128百万円(前年同期比336百万円増)となりました。この主な要因は、長期借入による収入が700百万円あった一方で、長期借入金の返済による支出が1,296百万円、リース債務の返済による支出が103百万円、社債の償還による支出が228百万円、配当金の支払額が127百万円となったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年7月11日付の決算短信で公表いたしました令和6年5月期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,742	4,923
売掛金	611	632
商品及び製品	2,225	2,425
原材料及び貯蔵品	65	69
未収入金	3,412	2,482
その他	320	348
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	11,372	10,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,902	2,935
土地	2,587	2,587
その他（純額）	519	574
有形固定資産合計	6,010	6,098
無形固定資産		
のれん	2,748	2,602
その他	502	531
無形固定資産合計	3,250	3,133
投資その他の資産		
その他	2,940	3,032
貸倒引当金	△152	△173
投資その他の資産合計	2,787	2,858
固定資産合計	12,048	12,090
繰延資産	0	—
資産合計	23,421	22,966

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,252	4,417
1年内償還予定の社債	1,482	—
1年内返済予定の長期借入金	2,008	1,738
未払法人税等	333	402
賞与引当金	45	45
店舗閉鎖損失引当金	21	20
その他	1,691	1,616
流動負債合計	9,835	8,241
固定負債		
長期借入金	5,216	4,905
退職給付に係る負債	791	867
資産除去債務	111	117
その他	478	444
固定負債合計	6,598	6,333
負債合計	16,433	14,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,298	1,961
資本剰余金	1,553	2,177
利益剰余金	4,014	4,156
自己株式	△210	△210
株主資本合計	6,655	8,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	1
退職給付に係る調整累計額	18	17
その他の包括利益累計額合計	17	19
新株予約権	208	208
非支配株主持分	105	79
純資産合計	6,987	8,391
負債純資産合計	23,421	22,966

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年6月1日 至 令和4年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年6月1日 至 令和5年11月30日)
売上高	25,745	26,948
売上原価	21,759	22,677
売上総利益	3,986	4,270
販売費及び一般管理費	3,412	3,560
営業利益	573	710
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取手数料	14	9
受取賃貸料	8	8
その他	11	9
営業外収益合計	35	28
営業外費用		
支払利息	28	28
賃貸原価	4	4
その他	9	4
営業外費用合計	42	37
経常利益	566	701
特別利益		
固定資産売却益	0	0
補助金収入	42	37
特別利益合計	42	37
特別損失		
固定資産売却損	5	—
固定資産除却損	27	4
固定資産圧縮損	41	32
減損損失	36	16
貸倒引当金繰入額	—	22
賃貸借契約解約損	103	3
特別損失合計	213	77
税金等調整前四半期純利益	394	662
法人税等	317	379
四半期純利益	77	282
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	72	273

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年6月1日 至 令和4年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年6月1日 至 令和5年11月30日)
四半期純利益	77	282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	2
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	1
四半期包括利益	77	283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72	275
非支配株主に係る四半期包括利益	4	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年6月1日 至 令和4年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年6月1日 至 令和5年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	394	662
減価償却費	295	295
減損損失	36	16
のれん償却額	327	276
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11	△1
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	20	30
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	28	28
補助金収入	△42	△37
固定資産売却損益 (△は益)	4	△0
固定資産除却損	27	4
賃貸借契約解約損	103	3
固定資産圧縮損	41	32
売上債権の増減額 (△は増加)	566	860
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△186	△171
仕入債務の増減額 (△は減少)	80	46
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6	△2
その他	299	168
小計	1,976	2,210
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△28	△28
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△437	△360
補助金の受取額	42	37
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,553	1,860
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△201	△317
有形固定資産の売却による収入	11	—
無形固定資産の取得による支出	△51	△90
長期前払費用の取得による支出	△33	△36
差入保証金の差入による支出	△113	△57
差入保証金の回収による収入	101	17
貸付による支出	—	△0
貸付金の回収による収入	0	0
預り保証金の返還による支出	—	△0
預り保証金の受入による収入	0	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△161	△67
その他	△0	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△448	△543

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年6月1日 至 令和4年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年6月1日 至 令和5年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得 による支出	—	△73
長期借入による収入	700	700
長期借入金の返済による支出	△1,243	△1,296
リース債務の返済による支出	△115	△103
社債の償還による支出	—	△228
配当金の支払額	△132	△127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△792	△1,128
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	312	188
現金及び現金同等物の期首残高	3,991	4,734
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,303	4,923

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 令和4年6月1日 至 令和4年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	調剤薬局 事業	物販事業	医学資料 保管・ 管理事業	医療 モール 経営事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	20,932	3,857	328	252	25,370	375	25,745	—	25,745
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	20,932	3,857	328	252	25,370	375	25,745	—	25,745
セグメント利益又は損失 (△)	744	△129	38	45	699	26	726	△153	573

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない人材派遣事業、製薬企業等向けのシステムインテグレーション事業等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△153百万円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

調剤薬局事業において、減損損失を36百万円計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては36百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 令和5年6月1日 至 令和5年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	調剤薬局 事業	物販事業	医学資料 保管・ 管理事業	医療 モール 経営事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	21,876	4,127	301	252	26,558	389	26,948	—	26,948
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	21,876	4,127	301	252	26,558	389	26,948	—	26,948
セグメント利益又は損失 (△)	831	△38	21	56	870	2	872	△162	710

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない人材派遣事業、製薬企業等向けのシステムインテグレーション事業等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△162百万円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

調剤薬局事業において、減損損失を16百万円計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては16百万円であります。